

技術協力プロジェクト

ニジェール国
学校運営改善計画フェーズ II
事業完了報告書

2012年1月

原雅裕（チーフアドバイザー/教育アドバイザー）
影山晃子（COGES モニタリング/業務調整）

目次

プロジェクト対象地域位置図

1	プロジェクト概要.....	4
1.1	プロジェクト実施の背景と目的	4
1.2	プロジェクトデザインの変遷.....	5
1.2.1	開始時のプロジェクトデザイン.....	5
1.2.2	プロジェクト期間の延長（延長および再延長）	7
2	投入実績.....	8
3	活動実績.....	8
4	プロジェクトの成果品一覧.....	14
5	活動実施スケジュール（実績）	16
6	プロジェクトの実施運営上の課題とそれを克服するための工夫、教訓など	16
7	PDM の変遷.....	18
7.1	PDM の改定（2009年11月）	18
8	合同調整委員会開催記録.....	18

別添

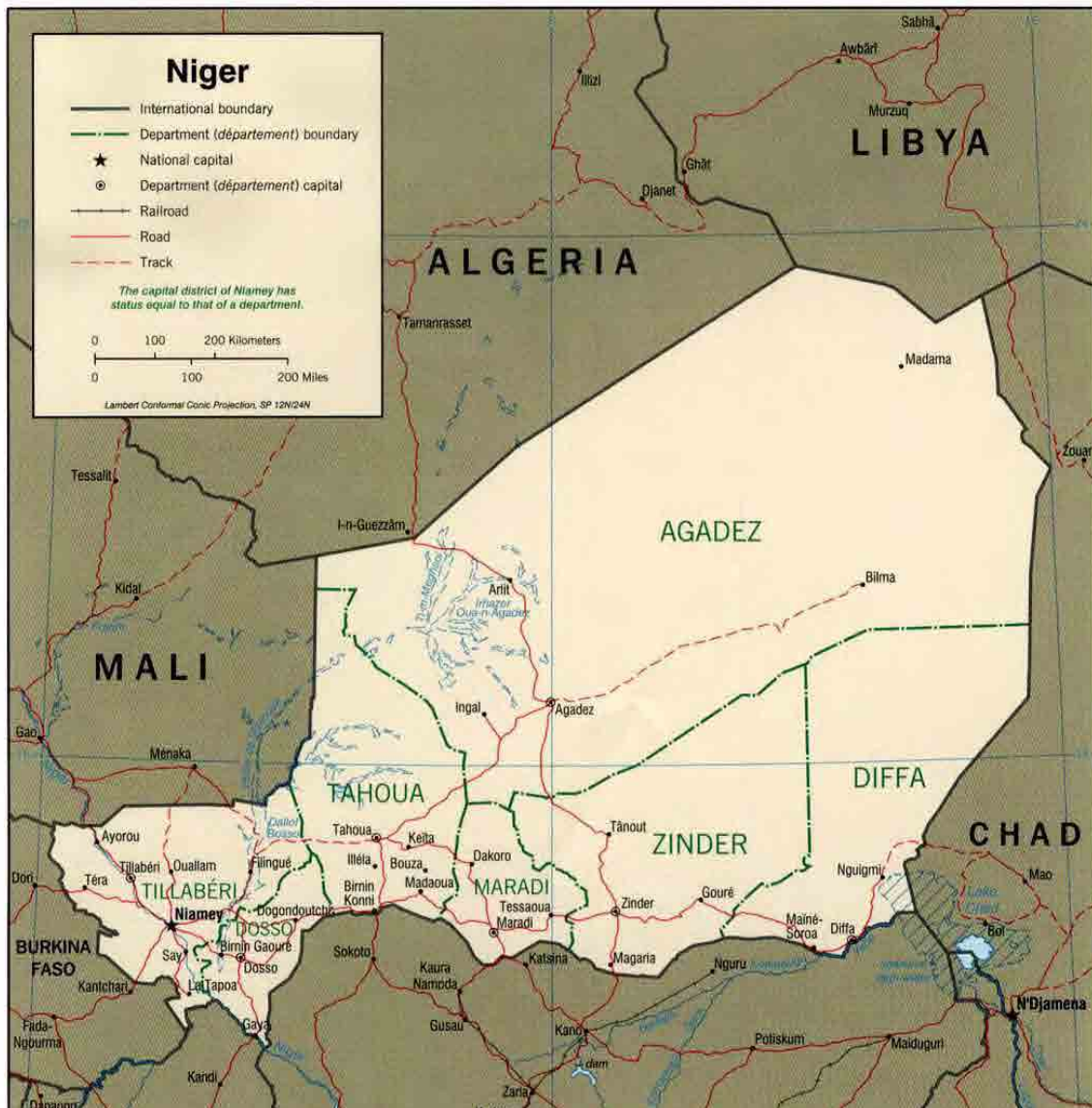
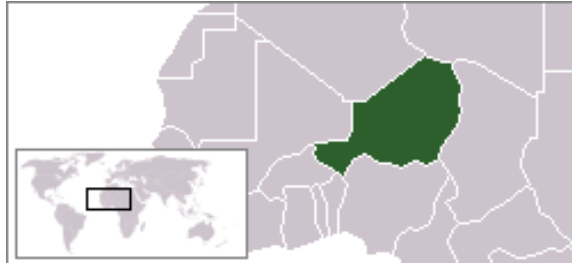
ANNEX 1. Project Design Matrix (PDM) プロジェクト開始当初版（2007年5月承認）

ANNEX 2. Project Design Matrix (PDM) 改訂版（2009年11月承認）

ANNEX 3. Plan of Operation(After Extention)

地図

対象地域：ニジェール共和国全土



1 プロジェクト概要

1.1 プロジェクト実施の背景と目的

サハラ以南アフリカ諸国の中でも最貧国の一つであるニジェール国(以下「ニ」国)は、「教育開発 10 ヶ年計画(PDDE)2003-2012」において、初等教育粗就学率を 2002 年の 41.7%から 2012 年までに 94%まで向上させることを目標としている(2004/05 年時点で 52%まで上昇)。また同計画では、学校運営に係る権限を中央省庁から学校運営委員会(COGES)へ委譲することを骨子とする地方分権化政策が柱の一つとして掲げられている。この政策は学校を取り巻く地域住民を学校運営の中心的担い手として位置づけ、学校運営計画策定から運営資金の管理、教員の管理等の権限を委譲し、さらに保護者への就学啓発活動等の責任を持たせるものである。しかし、当初はこの政策を具体化する実施戦略が不在で、COGES は機能していなかった。そこで「ニ」国政府は我が国に対し、COGES 政策を具現化するための技術協力を要請し、この要請に基づいて、JICA は 2004 年 1 月から 2007 年 7 月までの 3 年 7 ヶ月の間、「住民参画型学校運営改善計画(みんなの学校プロジェクト)フェーズ I」を実施した。

フェーズ I では、学校運営における住民参画を効果的に促進する COGES モデルが構築された。対象地域のタウア州及びザンデル州においては同モデルの有効性が実証され、2007 年 4 月に国民教育省が主催した国家 COGES 実施戦略セミナーでは同モデルが公式なモデルとして承認された。この承認を受け、「ニ」国政府は同モデルを全国(約 9,000 校)に普及することを決定し、全国普及とモデル発展のための技術協力を我が国に要請した。これを受け、JICA は 2007 年 8 月から 2010 年 10 月までの 3 年間の予定で「住民参画型学校運営改善計画(みんなの学校プロジェクト)フェーズ II」を開始した。本プロジェクトは 2010 年 2 月の終了時評価を経て、その活動期間は 2012 年 1 月まで延長された。

本プロジェクトでは、各校 COGES による学校活動計画の策定、実施を支援している。学校活動計画の内容は施設・備品整備、補習授業の実施、衛生施設の改善等、多岐に亘るが、模擬試験の実施、補習授業などが、生徒の成績向上に貢献したことが確認されている。また、本プロジェクトは、州の教育開発に携わるさまざまな関係者グループが、地域内共通の特定の教育課題に対して実現可能な解決策を集会(フォーラム)の場で決議し、自ら調達できる資源を最大限に動員し、学校現場ひいては地域全体の教育環境の顕著な改善を可能とする仕組みとして「フォーラム・アプローチ」を提案し、就学促進、成績向上、中退防止といった分野で、地域住民と行政の協働による州レベルの教育開発キャンペーンを後押ししてきた。その結果、各州で入学登録児童の男女比是正、初等教育修了試験の合格率向上、中退率の減少といった成果が表れ、フォーラム・アプローチの有効性が実証されつつある。

1.2 プロジェクトデザインの変遷

1.2.1 開始時のプロジェクトデザイン

(ア) プロジェクト名：

(日) 住民参画型学校運営改善計画フェーズ 2 (みんなの学校プロジェクト・フェーズ 2)

(英) Support to the improvement of school management through Community Participation in Niger (School for all) Phase 2

(イ) 対象国名： ニジェール

(ウ) 署名日 (実施合意)：2007 年 5 月 24 日

(エ) プロジェクトサイト：ニジェール全国

(オ) 協力期間：2007 年 8 月 1 日から 2012 年 1 月 31 日

(カ) 相手国機関名：国民教育省

(キ) 背景：

同プロジェクト・フェーズ 1 は、学校運営への住民参加を効果的に促進した。終了時評価(2006 年 7 月)では、教育改善活動に必要な資源が各 COGES で平均約 5~6 万円動員され、各学校 5~6 つの活動が実施されたことが大きな成果として確認された。フェーズ I の成果を非常に高く評価した「ニ」国国民教育省は、プロジェクトの学校運営モデルを全国に普及するため、普及に必要な技術支援をプロジェクト・フェーズ 2 として日本政府に対し要請した。

こうした背景を踏まえ、2007 年 4 月に事前評価調査を実施し、フェーズ 2 の具体的な内容を協議し、同 5 月に R/D 署名・交換を行なった。

(ク) 目標

上位目標

COGES による学校運営を通じて基礎教育の質とアクセスが向上する。

プロジェクト目標

全国の小学校に機能する COGES を設置し、維持するための COGES 政策実施体制が強化される。

(ケ) 成果

1. 機能する COGES を全国に設置するために様々なレベルの関係者の能力が強化される。
2. COGES のモニタリング体制が構築される。
3. パイロット地域(タウア州及びザンデール州)において COGES を通じた教育改善活動のモデルが構築される。

(コ) 活動

- 1-1 .行政責任者(州国民教育局長、県視学官等)を対象にした COGES 政策に関する啓発セミナーを実施する。
- 1-2. COGES 監督官及び COGES 担当官が実施する講師研修(民主的選挙、学校活動計画の策定・実施、財務管理)を支援する。
- 1-3. COGES 推進室長、COGES 監督官、COGES 担当官、及び NGO 要員が各州において実施する研修計画策定を支援する。
- 1-4. COGES 監督官、COGES 担当官、及び NGO 要員が各州において実施する COGES 研修(選挙研修及び学校活動計画研修)をモニタリングし、技術支援を行なう。
- 1-5. COGES 推進室長による COGES 政策及び COGES 連合戦略の改訂を支援する。
- 2-1. COGES 連合の設置とモニタリングに関するマニュアルを改訂する。
- 2-2. COGES 推進室が開催する COGES 連合モデルの政策承認に係る全国ワークショップを支援する。
- 2-3. COGES 委員に対する COGES 連合設置研修を実施する。
- 2-4. COGES 監督官及び COGES 担当官の開催する各州月例会議をモニタリングし、技術支援を行なう。
- 2-5. COGES に関する情報伝達システム(各校から中央へ)を構築し、モニタリングを行なう。
- 2-6. COGES のモニタリングに係る経験共有ワークショップを開催する。
- 3-1. タウア州及びザンデール州における教育改善活動に係るニーズ調査を実施する。
- 3-2. タウア州及びザンデール州のパイロット校に対して、教育改善活動の実施を支援する。
- 3-3. 教育改善活動モデルに係る経験を文書化する。
- 3-4. 教育改善活動に係る経験共有セミナーを開催する。

(サ) 投入

日本側投入

- 日本人専門家派遣

1. 長期専門家 4 名:チーフアドバイザー/教育アドバイザー、COGES モニタリング、学校活動計画、業務調整/住民能力強化
 2. 短期専門家(必要に応じて)
- 供与機材
巡回用車輛、オートバイ、その他(必要に応じて)
 - 在外事業強化費

相手国側投入

- カウンターパートの配置:基礎教育総局長/国民教育省、COGES 推進室長/国民教育省、調査計画局長/国民教育省、各州国民教育局長、各県視学官
- 事務所の提供(国民教育省内事務所)
- ローカルコスト負担>(NGO 業務委託費用):COGES 選挙研修及び学校活動計画研修実施にかかる費用、COGES のモニタリングにかかる費用

1.2.2 プロジェクト期間の延長 (延長および再延長)

(ア) 延長 (2010 年 8 月～2011 年 7 月 : 1 年)

2010 年 1 月 18 日から 2 月 11 日の日程で実施された終了時評価調査の結果、主として以下の理由によりプロジェクトフェーズ II の協力期間を 1 年間延長することが提案され、承認された。

・ プロジェクト目標「全国の小学校に機能する COGES を設置し、機能するための COGES 実施体制が強化される」の達成度に関し、フェーズ I からの対象州であるタウア、ザンデルの 2 州においてその達成が確認されたものの、新規対象 6 州 (アガデス、ディッフア、ドッソ、マラディ、ニアメ、ティラベリ) では、引き続きモニタリング体制の確立に向けた取り組みが必要。

・ COGES と COGES 連合を核とする地域の教育開発モデル開発と、同モデルを地方教育行政に組み入れることを目的に、更なる体制強化に取り組むことが必要。

(イ) 再延長 (2011 年 8 月～2012 年 1 月 : 6 ヶ月)

上記プロジェクトの延長理由となったプロジェクト目標に関しては、延長期間において達成が確定した。その一方、これまでのプロジェクトの支援による成果を評価するニジェール政府は、当該分野における支援の継続を非公式に要望していた。しかしながら、ニジェールにおいては、2011 年 1 月の大統領選挙の実施を経た民政移管および政府承認が 2011 年 4 月の予定であり、

新規案件にかかる正式要請を受領し採択を検討する環境にはなかったことから、本プロジェクトの成果の維持、また次期協力へのスムーズな移行を行うことを目的とし、本プロジェクトの協力期間を6ヶ月再延長することが承認された。

2 投入実績

日本側、ニジェール側からの投入は、延長・再延長期間においても計画通り実施され、成果の発現に貢献している。プロジェクトフェーズ II 全期間における投入は以下の通り。

1) 日本側投入

合計：5億5,865万円

長期専門家派遣：	のべ10名（約184MM）
短期専門家派遣：	3名（約5MM）
研修員受入れ（本邦研修）：	4名
機材供与：	122,460,693Fcfa
在外事業強化費：	1,359,411,580Fcfa

2) ニジェール側投入（評価時点）

カウンターパート配置：	中央レベル（国民教育・識字・国語推進省次官、就学総局長、訓練・カリキュラム総局長、調査・計画局長、COGES推進室長） 地方レベル（各州教育事務所長）
プロジェクト事務所提供：	なし
機材購入：	なし
プロジェクト実施に必要な経費（ローカルコスト）：	世界銀行支援による全国普及にかかる資金、見返り資金

3 活動実績

プロジェクト活動は延長・再延長期間を含めて、PDM及び活動計画（Plan of Operation: PO）に沿って、概ね計画通り実施されている。延長・再延長期間においては、特に、成果2の達成に向けたCOGESモニタリング体制の構築にかかる活動が実施された。また、プロジェクトは質の改善のための学校活動計画の導入に取り組んだ。

(1) 成果・プロジェクト目標・上位目標の達成状況

PDM 上の成果・プロジェクト目標はいずれも達成済みである。また 2009/2010 年度に達成した数値は、プロジェクトの延長期間にあたる 2010/11 年度にも達成しており、活動が継続的に行われていることが分かる。上位目標の達成度を測る指標としてあげられている教育指標（就学率、留年率、退学率、修了率）は、プロジェクト以外のファクターによる影響も受けるため、プロジェクトのみによる貢献を図るのは困難であるものの、上位目標についても、プラスの変化が確認されている。

1) 成果の達成状況

<p>成果 1: 機能する COGES を全国に設置するためにさまざまなレベルの関係者の能力が強化される。</p>	<p>指標: 【1-1】COGES 監督官 (PF) 及び COGES 担当官 (OR) の 90% が COGES の設立及び学校活動計画策定に係る研修を受講する。 【1-2】各州において研修実施プログラムが策定される。 【1-3】対象 6 州の小学校長の 90% が COGES 設立研修に参加する。 【1-4】対象 6 州において COGES 代表者の 90% が学校活動計画に係る研修を受講する。 【1-5】COGES 及び COGES 連合に係る戦略が改善される。</p>
---	---

【指標 1-1】

すべての COGES 監督官（8 名）及び COGES 担当官（51 名）が COGES の設立及び学校活動計画策定に係る研修を受講済みである。（2010 年 1 月の終了時評価時点で達成済み。）

【指標 1-2】

対象州（6 州）すべてにおいて、COGES 設立及び学校活動計画の実施に係る研修実施プログラムが策定された。（2010 年 1 月の終了時評価時点で達成済み。）

【指標 1-3】

世界銀行の財政面での支援によって、COGES 設立研修（民主選挙研修）が行われ、対象 6 州の校長の 99.5%（6,812 名中 6,579 名）が研修を受講済みである。（2010 年 1 月の終了時評価時点で達成済み。）

【指標 1-4】

世界銀行の財政面での支援によって、学校活動計画の策定に係る研修が行われ、対象 6 州の COGES 代表者の 98.5%（13,464 名中 13,267 名）が研修を受講済みである。（2010 年 1 月の終了時評価時点で達成済み。）

【指標 1-5】

COGES 連合のモデルについて、2008 年 7 月に行われた国民教育省主催のワークショップにおいて国家モデルとして承認された。また 2009 年 10 月には、COGES 連合の設立・役割・組織・機能に関する省令が交付された。(2010 年 1 月の終了時評価時点で達成済み。)

<p>成果 2: COGES のモニタリング体制が構築される。</p>	<p>指標: 【2-1】 COGES 連合モデルが承認される。 【2-2】 民主的選挙によって COGES 連合メンバーが選出され、すべてのコミューンに COGES 連合が設置される。 【2-3】 COGES 担当官の月例会議がすべての州において少なくとも年 10 回開催される。 【2-4】 2009/2010 年度において、80%の COGES 連合が少なくとも 3 回の住民総会と 6 回の事務局会合を開催する。 【2-5】 2009/2010 年度において COGES 連合の 80%が少なくとも 1 つのフォーラムのテーマに沿った学校活動を実施する。</p>
---	--

【指標 2-1】

COGES 連合モデルは 2008 年 7 月、国民教育省主催のワークショップにて公式に承認され、同年 10 月に設立・役割・組織・機能に関する省令が公布された。同省令では、COGES 連合が COGES のモニタリングにおいて明確な機能と役割を有していることが規定されている。(2010 年 1 月の終了時評価時点で達成済み。)

【指標 2-2】

2010 年 1 月末までに、「二」国 8 州のすべての対象コミューン (266 コミューン) に COGES 連合が設置された。

【指標 2-3】

2010 年 1 月の終了時評価時点においても、目標値は達成されていたが、その後も COGES 担当官の月例会議は、継続的にすべての州で開催されており、2010/2011 年の平均は 11 回。

表 2-1 州毎の月例会議開催数 (2010 年 8 月～2011 年 7 月)

	月例会議回数
Agadez	10
Diffa	11
Dosso	11

Maradi	11
Niamey	11
Tahoua	11
Tillaberi	11
Zinder	11

【指標 2-4】

2009/2010 年度は、少なくとも年 3 回の住民総会と 6 回の事務局会合を開催した COGES 連合の数は全 COGES 連合の 86.6%であった。2010/2011 年度には、この割合は 94%に達した。2010/2011 年度に年 3 回の住民総会及び年 6 回の事務局会合を行った COGES 連合数を表 2-2 に示す。

表 2-2 年 3 回の住民総会および年 6 回の事務局会合を行った COGES 連合数
(2010/2011 年度)

	COGES 連合の 数	住民総会 (年 3 回) および事 務局会合 (年 6 回) を行った COGES 連合の数	割合 (%)
Agadez	15	5	33
Diffa	12	8	67
Dosso	43	43	100
Maradi	47	47	100
Niamey	5	5	100
Tahoua	44	44	100
Tillaberi	45	45	100
Zinder	55	52	95
合計	266	249	94

【指標 2-5】

2009/2010 年度は、92%の COGES 連合が少なくとも 1 つのフォーラムのテーマに沿った学校活動を実施した。2010/2011 年度は 95%に上昇した。

表 2-3 フォーラムのテーマに沿った学校活動計画を少なくとも 1 つ実施した
COGES 連合数 (2010/2011 年度)

	1 つ以上学校活 動を実施した COGES 連合数	COGES 連合 の数	割合 (%)
Agadez	12	15	80
Diffa	11	12	92
Dosso	43	43	100
Maradi	47	47	100
Niamey	5	5	100
Tahoua	44	44	100
Tillaberi	36	45	80
Zinder	54	55	98
合計	252	266	95

<p>成果 3: COGES を通じた教育改善活動のモデルが構築される。</p>	<p>指標:</p> <p>【3-1】 2008/2009 年度及び 2009/2010 年度において、Tahoua 州及び Zinder 州にある 50 の COGES がコミュニティ幼稚園設立のための議事録を提出する。</p> <p>【3-2】 2008/2009 年度及び 2009/2010 年度において、Tahoua 州及び Zinder 州にある 50 の COGES がコミュニティ幼稚園を設立・管理する。</p> <p>【3-3】 コミュニティ幼稚園のモデルが承認される。</p> <p>【3-4】 フォーラムを実施した州の 90% の COGES 連合が、情報共有とフォーラムでのコミットメントに関する合意形成のための総会を開催する。</p>
--	--

【指標 3-1】

2008/2009 年度は 62 の COGES (Tahoua:29、Zinder : 33) が、また 2009/2010 年度は 53 の COGES (Tahoua : 17、Zinder : 36) が就学前教育担当視学官事務所にコミュニティ幼稚園設立のための議事録を提出している。(2010 年 1 月の終了時評価時点で達成済み。)

【指標 3-2】

2008/2009 年度は 62 の COGES (Tahoua:29、Zinder : 33) が、また 2009/2010 年度は 53 の COGES (Tahoua : 17、Zinder : 36) が国連児童基金 (United Nations International Children's Emergency Fund: UNICEF、以下 UNICEF) の支援を受けてコミュニティ幼稚園を設置した。(2010 年 1 月の終了時評価時点で達成済み。)

【指標 3-3】

2008 年 8 月に国民教育省主催のワークショップにおいて、コミュニティ幼稚園のモデルが承認された。また「コミュニティ幼稚園設置のためのガイドライン」が Tahoua・Zinder でのパイロット活動を通じて策定され、関係者 (国民教育省・州教育事務所・就学前教育視学官) に対して情報共有が行われた。(2010 年 1 月の終了時評価時点で達成済み。)

【指標 3-4】

2010 年は、フォーラムを実施した州の 96% の COGES 連合が、情報共有とフォーラムでのコミットメントに関する合意形成のための総会を開催した。

表 2-4 フォーラムに関する総会の開催数 (2010 年)

	総会数	COGES 連合数	割合 (%)
Dosso	43	43	100%
Maradi	43	47	91%

Niamey	5	5	100%
Tahoua	44	44	100%
Tillaberi	45	45	100%
Zinder	53	55	96%

2) プロジェクト目標の達成状況

プロジェクト目標: 全国の小学校に機能する COGES を設置し、維持するた めの COGES 実施体制が強化さ れる。	指標: 【1】 80%の COGES が民主選挙によって設立される。 【2】 90%の COGES が COGES 連合に学校活動計画を 提出する。 【3】 80%の COGES が COGES 連合に年間活動総括表 を提出する。
--	---

【指標 1】

2009 年 2 月時点で、Agadez、Diffa、Dosso、Maradi、Niamey、Tillaberi の各州の全学校のうち 97.1% に当たる 6,577 校が民主選挙に基づき COGES を設置し、設置に係る議事録を提出済み。(2010 年 1 月の終了時評価時点で達成済み。)¹ 「二」国では、学校数が年々増加している¹ が、【指標 2】の学校活動計画を提出した COGES 数から、「二」国側の努力によって、新設校にも COGES が着実に設置されている。

【指標 2】

2009/2010 年度は、全 COGES の 93.2% にあたる 11,175 の COGES が COGES 連合に学校活動計画を提出した。2010/2011 年度についても、調査時点で、既に 11,795 の COGES (89%) が学校活動計画を提出済みで、継続的に学校活動計画が提出されている。

表 2-5 学校活動計画提出率 (2010/2011 年度 (調査時点))

	COGES 数	学校活動計画を提出した COGES 数	提出率 (%)
Agadez	392	265	93.1
Diffa	552	435	78.8
Dosso	2094	2073	99
Maradi	2514	1853	73.7
Niamey	404	400	99
Tahoua	2235	2190	98
Tillaberi	2669	2140	80.2
Zinder	2430	2339	96.3
合計	13290	11795	88.8

【指標 3】

2009/2010 年度には、全 COGES の 82.8% にあたる 9,930 の COGES が、また 2010/2011

¹ 生徒数が 50 人集まれば、新規学校の設立を申請することができる。

年度には 93.5%にあたる 12,426 の COGES が、COGES 連合に年間活動総括表を提出した。

表 2-6 年間活動総括表提出率 (2010/2011 年度)

	COGES 数	年間活動総括表を提出した COGES 数	提出率 (%)
Agadez	392	186	47.4
Diffa	552	540	97.8
Dosso	2094	1996	95.3
Maradi	2514	2413	96
Niamey	404	380	94.1
Tahoua	2235	2227	99.6
Tillaberi	2669	2316	86.8
Zinder	2430	2368	97.4
Total	13290	12426	93.5

3) 上位目標の達成状況

上位目標: COGES による学校運営改善を通じて、基礎教育の質とアクセスが向上する。	指標: 就学率/留年率/退学率/修了率の改善
--	---------------------------

上位目標の達成度を測る数値目標は設定されていないが、終了時評価でも言及されている通り、2004年のプロジェクト開始時（フェーズ I）以来、総就学率、入学登録率、修了率、総就学率における男女格差は改善してきている。機能する COGES による教育改善活動やフォーラムアプローチによる女子の就学キャンペーンなどが、これらの指標の改善に貢献したと考えられる。ただし、プロジェクトのみからの貢献を計るのは既存の情報からは困難。2009/2010年度および2010/2011年度の総就学率、入学率、修了率は表 2-7の通りである。

表 2-7 教育関連指標 (2009/2010 年度および 2010/2011 年度)

	総就学率 (%)	入学率 (%)	修了率 (%)
2009/2010	72.9	98.6	49.3
2010/2011	76.1	99.8	51.2

出所：Statistiques de l'Education de Base: Annuaire 2010-2011

4 プロジェクトの成果品一覧

マニュアル・ガイド

- 1) COGES 担当官会議開催ガイド (2008 年 10 月; 仏文) : « Guide de tenue de

- réunion mensuelle des Observateurs Relais et Point Focal COGES »
- 2) COGES 連合設立ガイド (2008 年 10 月 ; 仏文) : « Manuel du participant à la formation sur la mise en place des Fédérations Communales des COGES »
 - 3) COGES 連合設立のための選挙総会開催ガイド (2008 年 12 月 ; 仏文) : « Guide d'organisation de l'Assemblée Générale Élective pour la mise en place des Fédérations Communales des COGES »
 - 4) COGES 連合の簡易型運営ガイド (2009 年 3 月 ; 仏文) : « Guide d'appui à la gestion simplifiée des ressources des Fédérations Communales des COGES »
 - 5) COGES 連合の活動計画策定、モニタリング・評価ガイド (2009 年 5 月 ; 仏文) : « Planification, suivi et évaluation des activités des Fédérations Communales des COGES (Manuel du participant) »
 - 6) COGES 運営コミュニティ幼稚園設立実践ガイド (2009 年 12 月 ; 仏文) : « Guide pratique de mise en place des jardins d'enfants communautaire »
 - 7) 見返り資金管理運用メカニズム (2010 年 1 月 ; 仏文) : « Mecanisme de gestion, de contrôle et de suivi du Projet 'APPUI A LA PROMOTION DE LA POLITIQUE DE GESTION DECENTRALISEE DES ECOLES A TRAVERS LES COMITES DE GESTION DES ETABLISSEMENTS SCOLAIRES' »
 - 8) 分権型学校運営の実施モニタリングに係る枠組み文書 (2010 年 3 月 ; 仏文) : « Document cadre de suivi dans la mise en œuvre de la gestion décentralisée de l'école : rôles et responsabilités des acteurs »²
 - 9) フォーラムアプローチの実施ガイド (2010 年 7 月 ; 和文) : 「フォーラムアプローチの可能性 ～ 行政と住民の協働による教育改善の経験 ～」
 - 10) 質の改善にかかる学校活動計画策定ガイド (2010 年 9 月 ; 仏文) « Guide sur l'élaboration des plans d'actions axés sur la qualité »
 - 11) 質の改善にかかる COGES 連合活動計画策定ガイド (2010 年 9 月 ; 仏語) : « Guide sur l'élaboration des plans d'actions des FCC axés sur la qualité »
 - 12) COGES 関連マニュアル保存版冊子 (2011 年 1 月 ; 仏語) : « Outils d'accompagnement pour la gestion décentralisée de l'école »

その他

- Arrêté 168/MEN/SG/DGEB Portant Création, Mission, Composition et Fonctionnement des Fédérations Communales des Comites de Gestion des Etablissements Scolaires (FCC) (「COGES連合の設立、使命、構成、機能に関する教育省令」168/MEN/SG/DGEB 仏文・和訳) 教育省基礎教育総局とともに

² 本文書は、国民教育省の幹部、全国 8 州の州国民教育事務所長と州 COGES 監督官、各州内の視学官と COGES 担当官の代表、援助機関・NGO の代表らが参加した 2 日間のワークショップを経て、省の公式文書として承認された (2010 年 3 月)。

作成、2008年10月に発効

- 質の改善にかかる学校活動計画2010／2011年データベース（2011年1月）
- 質の改善にかかる学校活動年間総括表2010／2011年データベース（2011年7月）

5 活動実施スケジュール（実績）

上述 1.2.2 の通り、最終的な活動実施スケジュール（実績）は、プロジェクト開始当初計画に、合計1年6ヶ月の延長期間（延長1年、再延長6ヶ月）が追加されるものとなった（別添3参照のこと）。

6 プロジェクトの実施運営上の課題とそれを克服するための工夫、

教訓など

6.1 持続的なモニタリング体制の構築（COGES および COGES 連合部分）

持続的なモニタリング体制の確立がネックになり、プロジェクト成果の持続発展を阻む要因となっていることがある。本プロジェクトにおいて COGES モニタリング体制の核となってきた COGES 担当官の巡回、会議開催費用などは、見返り資金から支出してきており、持続性が確保されてきたわけではない。本プロジェクトが実施してきた、このモニタリング体制の持続性を高める試みは、まず、モニタリングの基本となる COGES の内部モニタリングと COGES 連合による集会モニタリングの住民参加によって自主的に実施できるようメカニズムを構築から始められた。COGES の集会、COGES 連合事務局会合、総会開催費など、モニタリングに関するすべての労力、費用が COGES を通した住民参加によって賄われるように工夫されている。この試みは、COGES 及び、COGES 連合が住民にとって必要不可欠なものと思われるような活動が起こるように、示唆し、COGES 連合の活動が住民にとってわかりやすくする活動（フォーラムキャンペーン）などを繰り返し行うことによって、現在では、この部分のモニタリングは自主的に機能している。

6.2 持続的なモニタリング体制の構築（地方行政官部分）

COGES モニタリング体制のもう一つの柱は、地方行政官によるモニタリングである。上記 COGES および COGES 連合によるモニタリングを支えていくのが、この部分のモニタリングである。第2フェーズ開始当初は、主に COGES 担当官、監督官が COGES 連合を通して、COGES をモニタリングする形を構想していたが、実際に COGES 担当官のモニタリング体制維持のための経

費は、見返り資金から拠出されており、見返り資金枯渇後の、予算確保の用途はたっていない。このためもともと教育分野のモニタリングラインとして存在している指導主事、視学官（県レベル）、州教育事務所長(州レベル)に、**COGES** モニタリングライン(**COGES** 監督官、担当官)を統合し、モニタリング体制の地方行政官にかかる部分の持続性を高めるところみを行った。具体的に、県視学官と州の教育事務所長が **COGES** モニタリングに関する情報を共有する会議を開催支援し、**COGES** の政策の動き、**COGES** のモニタリング情報の共有を行い、実質的にも州教育事務所長と視学官が地方での **COGES** の担当責任者であるということを経験を通して確認してもらうことに成功した。現在は、これらの新しい会議の制度化を目指した活動を行っている。

6.3 教育省中央の **COGES** 政策実施担当部署の再構築

プロジェクトの実施、運営上、開発途上国の政府や、プロジェクト担当省の人的、制度的脆弱性が課題、障害になることもよくあるが、みんなの学校プロジェクトの場合でも例外ではなかった。2004年の開始からプロジェクト第1フェーズの間、プロジェクトが、地方行政官を通して、学校レベルのコミュニティや教員のエンパワーメントを行うことが主な活動であった頃は、地方レベルの人的な能力を強化し、地方レベルの制度を確立することで、成果を確保することができた。

プロジェクトの第2フェーズでは、プロジェクトがそのモデルを全国普及し、さらに普及した**COGES**の機能度を維持するためのモニタリング体制の確立を試行してきた。その普及の過程において、プロジェクトは、中央レベルでのモニタリング体制の要になるように、その担当部署の巻き込みを図ったが、プロジェクトと担当部署の間には距離があった。その距離は第2フェーズをおして縮まらなかった。

この**COGES**の担当部署の関与の低さは、主に、みんなの学校プロジェクトが地方をベースとしたプロジェクトであったという条件と同時に、カウンターパート責任機関をはじめとした制度的、人的な脆弱性に由来している。このことは、教育省が、教育省の制度的、人的な脆弱性を、新しいセクタープログラムの中で主要な改善課題として取り上げていることから明らかである。教育省は、改善策として、教育省の各部署のアクターの**TOR**にそった人事評価やその評価に伴う組織改編や能力強化を実施するとしている。

プロジェクトとしては、2011年11月に行われた 運営指導調査では、これらの教育省の改善策を先取りする形で、プロジェクトの実施体制（実施能力、実際の活動、人員配置、役割分担等）の調査とその評価結果をもとに、調査団が**COGES**

推進室の人的・制度的脆弱性をニジェール側に問題提起した。さらに、その解決策を、両者の話し合いにより模索するといったプロセスを経て、提言には具体的な実施体制の改編と強化策が運営指導調査の協議議事録に盛り込まれた。プロジェクトは、この強化策が具現化するように、働きかけつづけ、プロジェクト直前に強化改善されたCOGES担当部署の創設にかかる法令が發布された。

多くの技術プロジェクトが、今回のみんなの学校プロジェクトのように、プロジェクト運営実施上の障害が、カウンターパートやカウンターパート機関に関する人的、制度的な由来している場合も多く、その場合、プロジェクト内の専門家の努力や働きかけだけでは、解決できない場合が多い。内部解決が困難であれば、外部からの働きかけが必要であり、それは、合同調整委員会の機会にJICA事務所が、あるいは、評価調査時調査団が行うことが考えられるが、原因の所在が多岐にわたっているだけに、対処策も多様となる。したがって、プロジェクト担当者、調査団員、プロジェクト実施者のために、事例、経験などを蓄積し、事例集として共有することが、有効であると思料する。

7 PDM の変遷

7.1 PDM の改定（2009 年 11 月）

2009 年 2 月に実施された中間評価において、評価団より、「PDM の一部に現在の活動の優先順位を反映していない部分が生じており、また、プロジェクト目標の指標を含め、具体的な数値目標が設定されていない指標がある。」との指摘があり、「プロジェクトの進捗と目標達成状況を適切に評価できるよう、PDM に必要な改訂を加えること」が提言された。この提言に基づき、2009 年 11 月に各種指標を加えた改訂版が合同調整委員会にて承認された。PDM 初期版および改訂版は別添（Annex1 および 2）参照のこと。

8 合同調整委員会開催記録

第 1 回	
開催日時	2007 年 9 月 21 日
開催場所	ニアメスポーツ会館内会議室
出席者	<u>ニジェール側</u> 国民教育省事務次官、基礎教育総局長、計画局員、COGES 推進室長、州国民教育事務所長（8 名） <u>日本側</u> プロジェクト専門家（3 名）、JICA ニジェール事務所（所長、企画調査員）、

	プロジェクトスタッフ
議題	<ul style="list-style-type: none"> ▶ プロジェクト第2フェーズ概要 ▶ 今後の活動計画
協議概要	<p>州国民教育局長は R/D 締結時に参加していなかったため、今回プロジェクトのフレームワークや MEN が PDDE の活動の一環としている COGES の全国展開との関連性などについての説明を行なった。質疑では、PDM の指標等の問題点を指摘する参加者もあったが、フェーズ 2 が始まったばかりでもあり、現時点で変更は時期尚早であるとの判断から今後活動を行っていく上で変更修正の必要があれば、合同調整委員会の場で協議、合意した上で決定することが確認された。</p>

第2回	
開催日時	2008年3月18日
開催場所	ニアメスポーツ会館内会議室
出席者	<p><u>ニジェール側</u> 国民教育省事務次官、基礎教育総局長、計画局員、COGES 推進室長、州国民教育事務所長（8名）</p> <p><u>日本側</u> プロジェクト専門家（4名）、JICA ニジェール事務所（所長、所員）、プロジェクトスタッフ</p>
議題	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 過去6ヶ月の活動実施報告 ▶ 今後6ヶ月の実施予定活動発表および承認
協議概要	<p>活動実施報告については、プロジェクトの主要活動である、①COGES 全国普及にかかる技術支援、②COGES モニタリングシステム構築支援、及び③COGES イニシアティブ支援について発表があり、また、ザンデール州国民教育事務所長による、ザンデール州の女子就学キャンペーン活動結果報告並びに現在取り組んでいる女子残存率向上キャンペーンの活動も報告された。最小限の投入で大きな成果を出す当プロジェクトのアプローチに、参加者からは「プロジェクト撤退後も、このアプローチなら自助努力のみで実施可能」との発言もあった。このような評価は、教育省の財政状況を念頭に置きながら、かつ持続発展性を考慮し、費用対効果の高いアプローチを開発してきた結果といえる。</p> <p>他方、ザンデール州での取り組みについて、他州の国民教育事務所長も COGES、COGES 連合のネットワークを使ったアプローチに関心を持ち、ザンデール州国民教育事務所長に対して多くの質問が出た。特にタウア州の事務所長は来年度に向けた女子就学促進キャンペーン実施を希望していることから、合同委員会終了後、プロジェクトに対して技術支援の要請があり、啓発技術等での支援をプロジェクトで検討すると回答した。</p>

	<p>また、今後 6 ヶ月の活動に加えて、以下の活動が教育省側から提案され、参加者間で実施にかかる承認が得られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 見返り資金運用にかかる技術支援の継続 ➤ 試験的に実施された視学官月例会議開催の継続 ➤ COGES 連合の評価及び承認プロセスにかかる包括的な支援 <p>特に視学官月例会議開催については、ザンデールでの試験的な取り組みが「教員の安定化」に大きく貢献するとして高く評価された。</p>
--	--

第 3 回	
開催日時	2008 年 10 月 22 日
開催場所	ニアメスポーツ会館内会議室
出席者	<p><u>ニジェール側</u> 国民教育省事務次官、基礎教育総局長、計画局員、COGES 推進室長、州国民教育事務所長（8 名）</p> <p><u>日本側</u> プロジェクト専門家（4 名）、JICA ニジェール事務所（所長、所員）、プロジェクトスタッフ</p>
議題	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 2008 年 4 月から 9 月までの半期活動報告 ➤ 2008 年 10 月から 2009 年 3 月までの半期活動計画の説明とその承認
協議概要	<p>半期活動報告については、各成果に対して実施した活動の説明を行うとともに、タウア州の女子就学キャンペーン、ザンデール州の質の向上キャンペーンについても、各州事務所長より発表があった。その後の質疑応答では、タウア州女子就学キャンペーンの結果、コミュニティ幼稚園運営の資金源、コミュニティ幼稚園促進にかかる JICA/UNICEF/MEN の連携体制、また見返り資金の遅延にかかる原因等について議論された。</p> <p>また、翌半期の活動計画については、以下の活動が予定されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) COGES 連合全国普及支援 (2) 機能する COGES 連合によるモニタリング制度の開発 (3) 機能する COGES 連合によるフォーラムアプローチの強化 <p>これらの活動概要説明後、設立研修にかかる研修プログラムの日程確認とその承認が行われた。また、最後に、経験共有セミナーでの決議された提言にかかる発表がなされた。</p>

第 4 回	
開催日時	2009 年 2 月 24 日
開催場所	ニアメスポーツ会館内会議室
出席者	<p><u>ニジェール側</u> 国民教育省事務次官、基礎教育総局長、計画局員、COGES 推進室長、</p>

	州国民教育事務所長（8名） <u>日本側</u> プロジェクト専門家（4名）、JICA ニジェール事務所（所長、所員）、プロジェクト中間評価 JICA 調査団、プロジェクトスタッフ
議題	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 半期活動報告（2008年10月～2009年2月） ➤ 中間評価調査団による調査報告 ➤ 来期活動計画（2009年3月～8月）の発表とその承認 ➤ 経験共有セミナーでの提言の発表
協議概要	半期活動報告においては、COGES 連合設立状況にかかる総括の発表も合わせて実施した。また、中間評価調査団によりプロジェクト中間評価結果が参加者と共有され、その評価結果および提言にかかる意見交換が行われた。

第5回	
開催日時	2009年11月3日
開催場所	ニアメスポーツ会館内会議室
出席者	<u>ニジェール側</u> 国民教育省事務次官、基礎教育総局長、計画局員、COGES 推進室長、州国民教育事務所長（8名） <u>日本側</u> プロジェクト専門家（4名）、JICA ニジェール事務所（所長、所員）、プロジェクトスタッフ
議題	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 半期活動報告（2009年3月～10月） ➤ プロジェクト PDM 改定案提案 ➤ 来期活動計画（2009年11月～2010年4月）の発表とその承認
協議概要	プロジェクトからの半期活動報告と併せて、マラディ州教育事務所長ならびにティラベリ州教育事務所長からそれぞれの州にて実施した女子就学促進にかかるフォーラム実施結果が発表された。フォーラム実施経験のあるタウア州やザンデル州教育事務所長からは、自州の経験に基づきその効果に対する共感の声が寄せられた。その一方、特に、アガデスやデッファなど治安関係によりプロジェクトからの支援実施に制約がある州からは、自州でのフォーラムの実施とプロジェクトからの支援への要望が上がった。プロジェクト PDM 改定案に関しては、指標の設定に関する提案をプロジェクトから行った。結果、指標に関しては概ね合意を得た。

第6回	
開催日時	2010年3月19日
開催場所	ニアメスポーツ会館内会議室

出席者	<u>ニジェール側</u> 国民教育省大臣、事務次官、基礎教育総局長、計画局長、COGES 推進室長、州国民教育事務所長（8名） <u>日本側</u> プロジェクト専門家（3名）、JICA ニジェール事務所（所長、所員）、プロジェクトスタッフ
議題	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 前四半期の活動・成果報告（各州教育局長・プロジェクト） ➤ マリでの仏語圏西アフリカ学校運営広域セミナー報告（基礎教育総局） ➤ 終了時評価調査結果報告（評価・教育局長） ➤ 2010年7月末までのプロジェクト活動計画発表（プロジェクト・JICA事務所）
協議概要	<p>今回の合同調整委員会では、四半期活動成果報告として、事前に全州の事務所長に発表項目と時間を徹底し、各州がプレゼンを用意し発表するという形にした。プロジェクトの投入（資金・物資・技術）の大部分は州を対象にしており、その支援を受け、州教育省関係者が具体的な活動を実施し、成果を生み出すという流れから、各州の活動と成果の発表は州のトップである州所長が行うべきであり、所長自身もそれを当然と受け止め、各自が工夫を凝らした発表を行った。マリでの仏語圏西アフリカセミナーについてもプロジェクトからの発案ではなく、「是非、委員会で発表したい」との基礎教育総局長の意向を受けての実現であった。今回の争点の一つは、JICAの渡航措置変更に伴うプロジェクトの支援活動形態・場所の調整であったが、事前に関係州事務所長・COGES監督官と協議を重ね、合意を得ていたため、当日は大きな問題提起もなく、承認に至った。今回は、ほぼ参加者全員が発表も行い、委員会が経験共有の場としても機能し、より充実した内容の会議となった。</p>

第7回	
開催日時	2010年8月19日
開催場所	ニアメ国立競技場会議室
出席者	<u>ニジェール側</u> 国民教育省事務次官、基礎教育総局長、計画局長、計画局員、COGES 推進室長、州国民教育事務所長（8名） <u>日本側</u> プロジェクト専門家（3名）、JICA ニジェール事務所（所長、所員）、プロジェクトスタッフ
議題	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 活動成果発表（プロジェクト） ➤ 各州 COGES/COGES 連合活動成果発表（各州教育事務所長） ➤ 経験シェアリングセミナー（17、18日）結果報告 ➤ 半期活動計画発表・承認

協議概要	<p>今回の委員会においては、各州教育事務所長による COGES および COGES 連合活動の成果発表を通して、フォーラムアプローチの有効性が国民教育省中央関係者と共有された。また、前日の経験セミナーでの討議および決議内容が共有され、その結果、「全国統一テーマによるフォーラムの実施」と、「コミュニティ参加による教育の質の改善のための活動推進（質の活動計画を全国小学校ならびに COGES 連合で策定・実施）」が、今後の半期にプロジェクトが取り組む活動として、国民教育省中央レベル関係者との間で採決された。さらに、今後 COGES 活動ならびにプロジェクト活動の成果をより一層可視化していく必要があるとの意識を共有し、その手段として、全国小学校で今後展開される「質の学校活動計画」策定・実施による増加学習時間数と、仮設教室建設数のデータを集めることで合意した。</p>
------	---

第 8 回	
開催日時	2011 年 2 月 18 日
開催場所	ニアメ国立競技場会議室
出席者	<p><u>ニジェール側</u> 国民教育省事務次官、基礎教育総局長、計画局長、計画局員、COGES 推進室長、州国民教育事務所長（8 名）</p> <p><u>日本側</u> プロジェクト専門家（3 名）、JICA ニジェール事務所（所員、企画調査員）、プロジェクトスタッフ</p>
議題	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 2010 年 8 月から 6 ヶ月間のプロジェクト活動結果報告 ➤ 前日開催 COGES/COGES 連合経験共有アトリエの実施報告（ザンデル州教育事務所長） ➤ 2011 年 7 月末の第 2 フェーズ終了までの活動計画の共有とその承認
協議概要	<p>州教育事務所長からは、プロジェクトが取り組んできた一連の活動、特にフォーラムや視学官会議の効果および継続的な実施の必要性が教育省中央関係者へ伝えられ、持続発展性のために教育省の活動として統合する必要性が訴えられた。また、プロジェクトにて試験的に支援を行った視学官事務所内 COGES モニタリング調整会議に関しても各州より強い関心が見された。前回の合同調整委員会においても話題となった、ニジェールの COGES にかかる経験の文書化にかかる支援を盛り込んでいたこともあり、今後延長フェーズ終了までの活動に関しては、特に問題なく委員会での承認が得られた。</p>

第 9 回	
開催日時	2011 年 9 月 20 日
開催場所	アフリカフォーラム

出席者	<p><u>ニジェール側</u> 国民教育省事務次官、就学総局長、研修・カリキュラム総局長、計画局長、COGES 推進室長（但し、教育省新体制において、公式にはまだ室の創設はされていない、州国民教育事務所長（8名）</p> <p><u>日本側</u> プロジェクト専門家（2名）、JICA ニジェール支所（支所長、企画調査員）、プロジェクトスタッフ</p>
議題	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 州教育事務所長による 19 日開催の経験共有セミナー報告および討議 ➤ 前 6 ヶ月の活動結果報告 ➤ 今後 6 ヶ月の活動計画発表・承認
協議概要	<p>経験共有セミナーの結果報告に続く討議では、現場をよく知る州教育事務所長から、現在の教育開発における COGES、COGES 連合、コミュニティが果たす役割の重要性が強調された他、現在の成果を持続させるために、教育行政が今後も、コミュニティ活動を支援することが必要であると、教育省中央関係者に対し訴えられた。具体的な活動として、COGES 担当官会議や視学官会議、経験共有セミナーといった、現在プロジェクトが支援しているモニタリングの枠組を維持する重要性も語られた。また、中央・地方参加者共に、教育省がプロジェクトの知見を適切に引き継げるようみんなの学校プロジェクト第 3 フェーズ実施の必要性が強調された。</p> <p>さらに、これらの討議を通して、中等分野出身の新人事務次官からは、以下の点における協力の要望がプロジェクトに示された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクト活動および COGES/COGES 連合の活動に関する情報を教育省内全ての局長と共有し、啓発する会合の実施 ・ COGES の活動現場を訪問する教育省・プロジェクト共同ミッションの実施 ・ 視学官および指導主事が、COGES のモニタリング・支援において重要な役割を担うことから、両者を養成する高等師範学校において、高等師範学校とプロジェクトの協働により、候補生に対する情報提供・啓発等の実施

ANNEX 1 . Project Design Matrix (PDM) プロジェクト開始当初版 (2007年5月承認)

Support to the Improvement of School Management through Community Participation (School for All) Phase II			
Title of the project: Support to the Improvement of School Management through Community Participation (School for All) Phase II			
Target Area: all the regions (Niamey, Tillaberi, Dosso, Tahoua, Maradi, Zinder, Agadez, Diffa)			
Target Group: Parents/community residents, principals, teachers, and local education administrators			
Duration: 1, August 2007 ~ 31, July 2010 (3 years)			
NARRATIVE SUMMARY	OBJECTIVELY VERIFIABLE INDICATORS	MEANS OF VERIFICATION	IMPORTANT ASSUMPTIONS
Overall goal Quality and Access of basic education is improved by school management through community participation.	Changes in enrolment rate Changes in repetition rate Changes in dropout rate Changes in completion rate	MNE statistics	
Project Purpose Structure to establish and sustain COGES is reinforced to make COGES effective nationwide	1. Number of schools that establishes COGES through democratic election 2. Number of COGES that develops school action plans and percentage of the plans that are implemented	1. Report from the C.P.COGES 2. COGES monitoring report	The Niger education policy which places importance on COGES is unchanged
Outputs 1 Capacity of actors related to COGES is developed at all levels 2 COGES monitoring system is established 3 A model of school improvement activities conducted by COGES is established	1-1 Level of understanding and awareness of local administrators on the COGES strategy 1-2 Number of related actors participated in the introductory workshop 1-3 Number of COGES supervisors and COGES officers who were trained 1-4 Training plan developed for each region 1-5 Number of principals who received training on COGES establishment and number of COGES members who received training on school action plan 1-6 Improvement made in COGES strategy 2-1 Revision made in the manuals 2-2 Endorsement of the model of COGES commune 2-3 Number of COGES communes established 2-4 Monthly meetings are held regularly 2-5 Report of COGES supervisors are submitted regularly 2-6 Information on school action plans compiled through the reporting system 3-1 Collection of good practices and manuals of model activities	1-1 Survey in sample region 1-2 Report of the introductory workshop 1-3 Report of the trainers training 1-4 Developed training plan 1-5 Report of the C.P.COGES 1-6 Revised COGES strategy paper 2-1 Revised manuals 2-2 Report to national workshop on COGES commune 2-3 Report from the C.P.COGES 2-4 Report from C.P.COGES 2-5 Report from C.P.COGES 2-6 Report from C.P.COGES 3-1 Documents prepared by the Project	Schools are not closed for a long period due to principals and teachers' strike The poverty situation of households with school aged children does not worsen

ACTIVITIES	INPUTS		
	JAPAN	NIGER	
<p>Output1: Capacity of actors related to COGES is developed at all levels</p> <p>1-1 to hold introductory workshop for the local administrators related to COGES(ex. DREN, Inspectors etc)</p> <p>1-2 to support trainers training to COGES supervisors and COGES officers on democratic election, planning and implementation of school action plans, and financial management</p> <p>1-3 to support C.P.COGES, COGES supervisors, and NGO personnel on developing training plan</p> <p>1-4 to support COGES supervisors, COGES officers, NGO personnel on conducting training to establish COGES and planning and implementation of school action plans</p> <p>1-5 to support C.P.COGES to refine COGES and COGES commune strategy</p> <p>Output 2: COGES monitoring system is established</p> <p>2-1 to revise manuals on establishment and monitoring COGES commune</p> <p>2-2 to support C.P.COGES in holding national workshop to endorse the model of COGES commune</p> <p>2-3 to conduct training for COGES members on establishment of COGES communes</p> <p>2-4 to support COGES supervisors and COGES officers on holding monthly meetings at the regional level</p> <p>2-5 to support the development of COGES reporting system from school to national level</p> <p>2-6 to hold workshop to share experience</p> <p>Output 3: A model of school improvement activities conducted by COGES is established</p> <p>3-1 to conduct needs survey on school improvement activities in Tahoua and Zinder</p> <p>3-2 to support school improvement activities in pilot schools in Tahoua and Zinder</p> <p>3-3 to compile documents on the model of school improvement activities</p> <p>3-4 to hold seminar to mutually share the experience of school improvement activities</p>	<p>(a) Dispatch of Japanese experts</p> <p>1) Long-term experts</p> <p>-Chief Advisor / Education Advisor</p> <p>-COGES monitoring</p> <p>-Development of COGES initiatives (School Action Plans)</p> <p>-Capacity Development / Coordinator</p> <p>2) Short-term experts if necessary</p> <p>(b) Provision of equipment: vehicle for monitoring, motorcycles, etc. (as necessary)</p> <p>(c) Allocation of project implementation cost</p> <p>(d) Others</p>	<p>(a) Assignment of the counterparts</p> <p>-Director-General of Basic Education, Ministry of National Education(MNE)</p> <p>-National Coordinator of C.P.COGES,</p> <p>-Director, Department of Studies and Programming, MNE</p> <p>-Regional Directors of National Education, Regional Department of National Education (DREN)</p> <p>(b) Provision of office</p> <p>(c) Allocation of project implementation cost</p>	<p>Precondition</p> <p>The COGES policy exists</p>

ANNEX 2. Project Design Matrix (PDM) 改訂版 (2009年11月承認)

Project Title: Support to the Improvement of School Management through Community Participation (School for All) Phase II

Target Area: All the regions (Agadez, Diffa, Dosso, Maradi, Niamey, Tahoua, Tillaberi, Zinder)

Target Group: Parents/community residents, principals, teachers and local education administrators

Duration: August 1, 2007 – July 31, 2010 (3 years)

Modified and endorsed on November 3, 2009

NARRATIVE SUMMARY	OBJECTIVELY VERIFIABLE INDICATORS	MEANS OF VERIFICATION	IMPORTANT ASSUMPTIONS
<p>OVERALL GOAL The quality and the access of basic education are improved by school management through community participation</p>	<p>Changes in enrollment rate Changes in repetition rate Changes in dropout rate Changes in completion rate</p>	<p>Statistics of MEN, DREN, IEB</p>	
<p>PROJECT PURPOSE The structure to establish and sustain school management committees (COGES*) is reinforced to make COGES effective nationwide</p>	<p>1 80% of the COGES have been established through democratic elections 2 90% of the COGES have submitted school action plans to their respective communal federations of COGES (FCC**) 3 80% of the COGES have submitted annual reports to their respective communal federations of COGES (FCC)</p>	<p>1 Reports of regional COGES supervisors (PFs) and district COGES officers (ORs) 2 Reports of PFs / ORs 3 Reports of PFs / ORs</p>	<p>Niger's education policy which places importance on COGES is unchanged</p>
<p>OUTPUTS 1 The capacity of actors related to COGES is developed at all levels</p>	<p>1-1 90% of the regional COGES supervisors (PFs) and the district COGES officers (ORs) have participated in a series of trainings on the establishment of COGES and the planning of school activities 1-2 A regional training program has been developed for each region 1-3 90% of the principals of primary schools in the six (6) regions have participated in a training on the establishment of COGES 1-4 90% of the COGES representatives in the six (6) regions have participated in a training on the planning of school activities 1-5 The strategies of COGES and FCC have been improved</p>	<p>1-1 Report of the trainers training 1-2 Regional training program developed 1-3 Reports of PFs 1-4 Report of the trainers training 1-5 Revised strategy papers on the COGES and FCC</p>	<p>The schools do not face serious disturbances The poverty situation of households with school-aged children does not worsen</p>
NARRATIVE SUMMARY	OBJECTIVELY VERIFIABLE INDICATORS	MEANS OF VERIFICATION	IMPORTANT ASSUMPTIONS
<p>2 A COGES monitoring system is established</p>	<p>2-1 A model of FCC has been endorsed 2-2 100% of the communes in Niger have a communal</p>	<p>2- Report of the national workshop on the establishment of FCC 1 2- Reports of PFs / ORs</p>	

	<p>federation of COGES whose committee members have been elected democratically</p> <p>2-3 Monthly meetings of ORs have been held at least ten (10) times a year in each region</p> <p>2-4 80% of the FCC have held at least three (3) general assemblies and six (6) committee meetings in 2009/2010</p> <p>2-5 80% of the FCC have implemented at least one thematic activity in 2009/2010</p>	<p>2</p> <p>2-3</p> <p>2-4</p> <p>2-5</p>	<p>Reports of PFs / ORs</p> <p>Reports of PFs / ORs</p> <p>Reports of PFs / ORs</p>		
3	<p>A model of school improvement activities conducted by COGES is established</p> <p>3-1 50 COGES have submitted meeting minutes for the establishment of community pre-schools in the regions of Tahoua and Zinder in 2008/2009 and 2009/2010 respectively</p> <p>3-2 50 community pre-schools have been established and managed by the COGES in the regions of Tahoua and Zinder in 2008/2009 and 2009/2010 respectively</p> <p>3-3 A model of community pre-schools has been endorsed</p> <p>3-4 90 % of the FCC in the regions which had organized regional forums have held a general assembly for information sharing and consensus building on the commitments made at the forums</p>	<p>3-1</p> <p>3-2</p> <p>3-3</p> <p>3-4</p>	<p>3-1</p> <p>3-2</p> <p>3-3</p> <p>3-4</p>	<p>Meeting minutes elaborated</p> <p>Reports and/or statistics of the Inspectors of preschools (IEP)</p> <p>Report of the department of preschools on the model of community pre-schools</p> <p>Minutes of the general assemblies at FCC</p>	

ACTIVITIES	INPUTS		IMPORTANT ASSUMPTIONS
	JAPAN	NIGER	
<p>1 To hold an introductory workshop for the local administrators related - to COGES (e.g. DREN, Inspectors, etc.)</p> <p>1</p> <p>1 To support trainers trainings to the regional COGES supervisors and - district COGES officers on democratic elections, planning and 2 implementation of school action plans and financial management</p> <p>1 To support the C.P.COGEs***, regional COGES supervisors district - COGES officers and NGO personnel on developing training 3 programs</p> <p>1 To support regional COGES supervisors, district COGES officers and - NGO personnel to conduct trainings on democratic elections, 4 planning and implementation of school action plans and financial management</p> <p>1 To support the C.P.COGEs to refine the COGES and FCC strategies -</p> <p>5</p>	<p>(a) Dispatch of Japanese experts</p> <p>1) Long-term experts Chief Advisor / Education Advisor COGES Monitoring Development of COGES Initiatives (School Action Plans) Capacity Development / Coordinator</p> <p>2) Short-term experts if necessary</p>	<p>(a) Assignment of the counterparts Director-General of Basic Education, Ministry of National Education (MEN) National Coordinator of C.P.COGEs Director, Department of Studies and Programming, Ministry of National Education (MEN) Regional Directors of National Education, Regional Offices of National Education (DREN)</p> <p>Provision of an office</p> <p>(b)</p>	<p>The security conditions do not deteriorate in any parts of the country.</p> <p>The Japanese "counterpart fund" allocated for the monitoring of activities of FCCs is regularly remitted to the accounts of the DREN.</p>

<p>2 To revise manuals on the establishment and monitoring of FCC - 1</p> <p>2 To support C.P.COGES to hold a national workshop for the - endorsement of the model of FCC 2</p> <p>2 To conduct a training for COGES members on the establishment of - FCC 3</p> <p>2 To support the regional COGES supervisors and the district COGES - officers in holding monthly meetings at regional level 4</p> <p>2 To support the process of establishing a COGES-related reporting - system from school level to national level 5</p> <p>2 To organize national workshops for experience sharing - 6</p> <p>2 To organize regional forums of FCCs - 7</p>	<p>Provision of equipment: (b) vehicle for monitoring, motorcycles, etc. (if necessary)</p> <p>(c) Allocation of project implementation cost</p> <p>(d) Others</p>	<p>Allocation of project implementation cost</p>	
			PRECONDITION
			The COGES policy exists

* COGES : Comité de Gestion des Etablissements Scolaires (School Management Committee)

** FCC : Fédération Communale des COGES (Communal Federation of COGES)

*** C.P.COGES : Cellule de Promotion des COGES (COGES Promotion Section)